

發見する事が出来る、日本では建築でも、橋梁でも公園でも、實用以外に裝飾とか美觀とか云ふ事を餘り考へない、否考へても實行する財力が伴はない、常に經費を實用の範圍に切り詰められる、不用と云へば不用であらうが、歐米諸國橋梁に偉大なる塔や像を以て裝飾を凝らし、各種建築の美的彫刻物や輪環の壯麗を誇る設計、幽邃なる大公園の風致は、何と云つても日本の遠く及ぶ所でない、日本では直ちに無駄と排撃せらるべき所を、苦もなく實行して居る所は如何に考へても懷具合に歸せざるを得ない。

## 英國に旅して

故に日本は天恵に薄く天産物も不足勝ではあるが、幸に萬國に秀でたる國體と明晰なる頭腦を有し、山水の風景は列國に冠たるものがある、大に努力して無より有を生じ遅れたる施設を取り返さねばならぬ、幸に本道路改良會が交通問題の宣傳宜敷を得、道路熱の盛になつた事は、國家産業の振展の爲めに慶賀すると共に、關係當局としては一段の奮發をなし、泰西の諸設備を凌駕する様努力を要するものと痛感する次第である。

藤井眞透

ロンドンに於ける交通省、ロンドン大學、アスファルト協會、タール協會、乳劑協會、セメント協會、及び之等の試験所を見、更に Binnants, Colas, Tarfroid, Tarvite, Col-

Fr, De-aerated Concrete (真空コンクリート混合機會社)の會社など訪問し、多くの技術者と會談した後、北部地方道路視察の旅に出發した。

一月三十日。ロンドンのリバプール街停車場から汽車でケンブリッジに向ひケンブリッジ大學の Kings College, Pembroke College, Queens College 等を訪問し同市中の Queens Walk, Regent Street 等にある Tarmac 舗装を視察した。Cam 河の流れに浮き Kings Bride の景色を賞じ大學生のノンセンスな姿が目にとまつた。更に汽車で Kettering のりかく Leicester 市に到着した。

Kettering の北郊 Gtetingen にロンドンのチャーリングクロス街にあると同じ Eleanor Cross が立つてゐる。

一月三十一日。Leicester は人口二十三萬で此町に郡役所がある。下町の四辻に時計臺があつて偉觀を添へてゐる。此近邊に中世紀絞首臺のあつた所だと思はれその名をとつて Gallow Street の名を留めてゐる。High Street 街にある聖ニコラス寺院にはノルマン時代の Gato (禮拜堂) が建つてゐるが、之はローマ時代からの煉瓦建造物である。その前の五十番地の民家の地下室にローマ時代のモザイク舗装の跡が残つてゐる。Castle Hill に添ふて塔門が砂岩が崩れ

たまま残つて Pointed Arch をなしてゐる。午後乗合自動車で Sheffield に向つたか此道路は幹線でその幅員四十二呎ターマカダムで舗装してある。寒さ激しく雪が吹き込んで來る此路線は Peak District の東側であるが勾配は百分の一でカーブは街の衝角などを除きその半徑四百二十呎以上に思へた。

二月一日。Sheffield は人口五十一萬 Yorkshire 郡第一の都會である。下町の市役所の時計臺のある邊りでレオバード街とフアーゲート街に挟まれた西公園や大學、ラスキン博物館を見物したり、Don, Sheaf 河改良工事、製鐵工場地帯など周行しサクソン時代の市役所たる Manor House を見物した全て砂岩を以て仕上げであるがその土地の材料を用ふる英國の工法の特質を感ずる。

午後汽車で Leeds に行く市役所で一九二四年米國セメント同業會からセメント發明者たる Joseph Aspdin に贈つた額がある。實にセメントは彼が二十五才の時の發明である。汽車は峠を越え二百四十哩を走つてスコットランドに

向ふ。Carlisle に於て英國を東西に貫通して居るローマ時代の石造城壁を見る。

二月二日。エデンバラ、人口四十五萬スコットランドの舊都である。テルフォードが一八三二年に架けたハスバンドの石造アーチを見る。深い谷の上にかかり兩側のグリーンが美しい。Forth Bridge は餘りに有名なものだが一八八三—

一九〇年に造られたカンテリバー橋で堂々たるものである。Queens Ferryまで下りてわざ／＼その偉觀を賞した。

徑間一千七百—一千七百十呎である此驛で驛夫が日本へでも來たことがあるのか「ナガサキ」「ヨコハマ」などと話しかける。都市計畫で有名な此町の市場は昔の絞首臺の跡で今建築資料の展覽會をやつてゐる。田舎式のものだ。エスプラネードより城塞を見る。粗石積石造。一九年間英國のために幽塞され遂にフエザーハンドで斬首されたマリー女皇の室。彼女がジェームス四世を生んだ室には一五六六年號のある曆が未だ張つてある。母を殺しエリザベス女皇の養子となり遂に大英國を統一した彼ジェームスのDanmark

に於ける情史を省み中世紀を偲んだ。Holyrood 宮殿のRazio が殺された跡の眞鍮板も見た。

此市はスコットランド産のトラップ岩や花崗岩で路面を舗装せるは氣持よく住宅地域も此工法で行ひ只プリンセス街の角に木塊を舗装したものがふくれて居るのが目立つ。英國の都市路面は皆特徴を持つてゐる。

二月三日。エデンバラからグラスゴーまで貫通するA八號幹線道路を進みグラスゴウにつきすぐ Kelvin Grove 公園、Kelvin Hall 大學を見物した蒸汽機關車の通る地下鐵と Cable Traction の inner and outer Circle の地下鐵を見、グラスゴウ公園の People Place に外國品は日本のものだけあるのに感を深くした。Cross Station や時計臺のある市の中心地が昔の絞首臺の跡なるも昔を偲ばしめる。

ジョージ五世橋で Clyde 河を渡り Princess Dock を見、Clyde 河のトンネルを見、再び市の中心地に戻りジョージ廣場、ブチャナン街を見た。

鋪石道の中に車の車輪のあたる所には軌道の様に砂岩を

二列にしてあるのが目についた。

二月四日。グラスゴーを立つてリバプールに行つた。午前九時三十分から午後七時三十分までかゝる。三十二人乗り乗合自動車に四人乃至七人の乗客しかなかつた。Tannae面、砂岩の縁石、積木細工の様な家屋と石垣、見渡す限りの縁の草原、樹木のない起伏地に羊が放牧されてゐる。Penith で午後二時三〇分に四〇分間停車、雪の中を走つて晝飯を食べに行つた。リバプールにつくと小供の案内人が荷物を以てくれてホテルへ案内した。

二月五日。午前、リバプールは人口八十五萬、中心地域にある聖ジョン公園、ジョージ辻、ウォータロー廣場の一廓を見る。朝八時三〇分の寒空に立つて英國の誇りとする古代名士の像を寫した寺院に二十一才の若き技術家の苦心を偲び、キャッスル街の美觀、Penheadの壯觀を賞した後渡船により Birkenhead に渡り Marey Road トンネルの工事を視察し河岸に沿ふて居る高架線を乗り廻して英國型のスマートな美少年の親切な案内に感じ正午直ちにマ

ンチエスターに向つた。

Ship 運河を横斷してマンチエスターに入る。マーケットストリートやピカデリー廣場に商業地域を見物し市役所から中心地域を眺み幹線の大通りを自動車で走り Trafford の路邊で Sheep 運河の可動橋の動くのを見た。更に Salford に入りて Trawell 河の橋梁に興味ををほえた。

二月六日。マンチエスターよりバーミンガムに向ふ。Stockport から先は總て Tannae で鋪装してある。雪が降り出した。附近の公園をみて感じたことは國立公園とは道路の附屬物である。道路の完成前には名勝史蹟の保存の必要はあるが國立公園の必要はない道路を完成して始めて作るべきだと思つた。

バーミンガムは人口百萬。中心地域及商業地域には路面電車及バスはなく(只バスの一系統あるのみ)折返し循環運轉をやつて中心地たる New Street になつ。茲に電車やバスの運轉系統の如きを科學的に考ふべきものだと思つた。Bull Ring の聖マルチン寺院の商店とピクトリヤ辻、

ラットグリフ廣場、チャンパーレイン廣場の商店街とが對立してその間に市立の仲店街が美觀を放つてゐる。

Bull Ring の十五分の一の坂のモルタル目地鋪石道は滑りやすく斜めに昇らなければ行かれない。すぐそばの Leamington に立つてゐる Warwick の東門は中世紀の關所跡で Leicester の Turret 門と共に今でも市中に残つてゐる。

二月七日。Leamington 附近の地方道路を見る。Barford で Avon 河を渡り草屋根の家の列んでゐる Tiddington を見て Stalford を見た。Tarnacadam の鋪裝用混合物を積んでゐる貨車が停車場に列んでゐる。

Leamington では既に市内電車の線路をはつしてしまつた。人口は僅か二萬の都會である。

二月八日。オックスフォードに向ふ。ローマ時代からの城塞の塔は粗積の石造で昔 Mathilda が雪の夜白のガウンを着て牢獄から逃れた所である。秩父宮殿下の擧げられた Magdalen College 及同橋梁 Balliol College, Trinity College 前の Martyr の紀念塔を見、火刑の悲劇を偲んだ。午後四

時五分バスで ロンドン に向ふ。三車線の幹線道路 Tarmac で鋪裝してある。

Chiltern Hill に向へば Relocation の跡を見、チツグサツグに坂を上る。町へ入ると Integral の縁石を用ひてゐる。High Wycombe, Uxburg を經て ロンドン に入り Great Western Road (幅員百二十呎) の新設迂迴道路に入り、Hammersmith, Kensington, Knightsbridge を經てビクトリヤ停車場に歸つた。バス五百哩の旅行であつた。

◇ × ————— × ◇

◇ × ————— × ◇